



おかやま 国際交流



Okayama Prefectural International Exchange Foundation

表紙	P ①
日本語講座文化授業	
特集	P ②
日本語講座文化授業	
相談・派遣事業等のお知らせ	P ②
令和4年度 岡山県国際交流協会行事予定表	P ③
事業報告	P ④、⑤
ボランティア交流会 ほか	
外国人エッセイ 私の何でも自慢 グエン・アイン・トウアンさん	P ⑥
外国人のための情報コーナー 防災グッズの紹介	P ⑦
ボランティア活動しています! 佐野 ひろ子 さん	P ⑧
作ってみよう! 世界のレシピ Lassi (ラッシー) (インド)	P ⑧
JICA寄稿 JICA海外協力隊事業 コンシェルジュ便り	P ⑨
イベントカレンダー 日本文化体験・交流会 ほか	P ⑩



文化授業

「日本語講座文化授業」

一般財団法人 岡山県国際交流協会では、県内在住の外国人の方を対象に、地域で生活するために必要な日本語を身につけられるよう毎週火曜日から土曜日まで岡山国際交流センターで日本語講座を実施しています。

受講生は、各々異なった文化を持ち、年齢も滞在歴もさまざまですが、日本文化、習慣、行事等についての関心が高いことは共通しています。

このようなニーズに対応して、各クラスでは毎年1回、日本文化授業を実施しています。

令和3年度の日本文化授業をご紹介します。

(詳細は、次ページをご覧ください。)



日本語講座文化授業

「後楽園見学」火曜クラス・金曜クラス

バスの運賃無料DAYを利用して、テキストで学ぶ後楽園を日本語のガイドで見学しました。松のこもまきや記念撮影をする花嫁花婿も見られて「日本文化は深い!」と楽しんでいました。



「正月遊びの坊主めぐり」水曜夜クラス

各国の正月などの挨拶や食事等の発表後、坊主めぐりゲームをしながら百人一首について学び、古くから伝わる日本人の物の見方と考え方に興味津々でした。



「盆点前体験」水曜朝クラス

茶道具ときれいな和菓子の説明を聞いてから、自分でお茶をたて、体験を通して茶道の心は現代の生活やマナーにつながっていることに気づきました。



「調理実習」土曜クラス

食文化はそこに生きる人の命と言葉の源。各国の料理について発表を聞き、中華サラダを調理。五感が刺激され、会話が弾みました。



中華サラダと日本の菜の花あえなどの美しい盛り付け方を学び、持ち帰りました。



がいこくじん 外国人のための相談・派遣事業等のお知らせ



二次元コードを読み取ると、ホームページが見られます。

岡山県外国人相談センター

県内在住外国人の皆さんの生活のサポートとして相談窓口を設置しています。仕事、結婚、子どもの教育、法律相談など各種相談を多言語で受け付けます。また、必要に応じて行政機関・学校等への通訳派遣サポートや行政機関への相談員派遣も行っています。

と き	一般相談 月曜日～土曜日9:00～17:00 (12月29日～1月3日を除く)
相談方法	●面談 岡山国際交流センター1階 相談コーナー、相談室 ●電話相談 0120-007-173 (086-256-6052) ●メール相談 support@opief.or.jp
対応言語	日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、タイ語、ほか
費用	無料 予約 不要



令和4年度 一般財団法人岡山県国際交流協会 行事予定表



予定月	行事名	開催予定日
6月	第1回 親子で遊ぼう - Family Friendly Event -	6月18日(土)
7月	日本文化体験・交流会	7月9日(土)
8月	第1回 留学生と県民との交流会	8月6日(土)
	英語で話そう	8月20日(土)
	子ども日本語学習サポーター研修会	8月27日(土)
10月	国際貢献NGOフェア	10月及びR5年1、2月
	地域共生サポーター養成講座・研修会	10月30日(日)
	国際貢献・協力セミナー	10月中
11月	海外マガジンリサイクル	11月14日(月)～11月26日(土)
	日本語ボランティアスキルアップ研修会	11月中
	第2回 親子で遊ぼう -Family Friendly Event-	11月中
	ワールド・エクササイズ	11月中
12月	第2回 留学生と県民との交流会	12月10日(土)
1月	[オンライン]多文化共生コミュニケーションサポーター研修会①	R5年1月中
	[オンライン]多文化共生コミュニケーションサポーター研修会②	R5年1月中
	[オンライン]多文化共生コミュニケーションサポーター研修会③	R5年1月中
2月	災害救援ボランティア(通訳・翻訳)研修事業 「外国人と共に学ぶ災害時対応」研修会	R5年2月23日(木・祝)または 2月25日(土)
	[オンライン]やさしい日本語研修会	R5年2月中

今年度行うその他の事業

予定月	行事名
R5年 1～3月	ボランティア交流会
未定	地球市民講座
随時	コンシェルジュの おしゃべりサロン

*都合により、日程等は変更する場合があります。最新情報は、
下の二次元コードを読み取り当協会のウェブサイトをご覧ください。

ホームページ



Facebook



Twitter



Instagram



ボランティア交流会

令和4年2月11日(金・祝)

講師:特定非営利活動法人岡山NPOセンター 参画推進センター所長 西村 ころろ氏

協会ボランティアを対象に交流会をZoomで開催し、17名が参加しました。講師の西村氏が国際協力や災害ボランティア等県内で行われている活動を紹介した後、参加者はグループに分かれ、どんなボランティア活動があればいいかアイデアを出し合いました。サポーターとして参加したコンシェルジュ(留学生)に感想を聞いてみました。



講師の西村氏

〈グループワークの意見〉

課題

- どういったボランティアがあるか分からない。
- 参加するには何が必要か不明。
- 留学生と子どもたちの触れ合いの機会が少ない。
- 岡山の商店街の情報発信を活発にしたい。

グループで出たアイデア

- 外国人コミュニティの地図をつくる。
- 運動イベントの開催。
- パソコンの使い方講座。
- 子ども食堂で海外の料理紹介。
- 書道、そろばんで日本文化紹介 など。



アイデア出しの様子

サキさん(マレーシア)



身近で行われているボランティア活動の種類の多さを知って驚きました。ボランティア活動には何か堅いイメージを持っていましたが、実際には様々な形で行われ、それぞれの活動が社会にどのように貢献しているのか知ることができて良かったです。

ジュナさん(バングラデシュ)



岡山県で行われている様々なボランティア活動を知るいい機会だったのはもちろん、グループ活動の部分では面白い意見がたくさん出て、これからの活動も楽しみになりました。継続的にボランティアに参加されている方や初めて参加される方もいて、それぞれの思いが聞けたことがとても良かったです。

「やさしい日本語」研修会(オンライン開催)

令和4年2月26日(土)

講師:島根大学外国語教育センター准教授 佐藤 智照氏

共催:岡山県

『知ろう!学ぼう!「やさしい日本語」』をテーマに開催し12名が参加しました。

講師の佐藤氏は、これからの外国人支援は、相手にだけ変化を求めるのではなく、日本人と外国人が自文化と他文化の中間地点「サードプレイス」を探しながら、考えながら互いに協力して暮らしやすい社会をつくるのが重要であると述べました。

また、やさしい日本語とは、日本語を母語としない外国人だけでなく、子ども、障がい者、日本語を使う多くの人々にとっても、わかりやすい日本語であると話しました。

その後、どうすれば日本に暮らす

日本人と外国人が言葉や文化、価値観の違いを考慮しながら暮らしやすい社会を実現できるかについて話し合いました。

「なぜやさしい日本語を使うのか」という考え方についても多くの時間が割かれていたので、参加者からは新たな視点を知ることができたなどの感想が寄せられました。

みんなで新しい社会を共創しましょう

私たちは、同じ社会で暮らしています。

同じ社会のメンバーです。

社会をつくるのは、私たちです。

多様な人々が共に生きる社会を共創しましょう。



やさしい日本語について説明している講師の佐藤智照氏

親子で遊ぼう-Family Friendly Event-

令和4年3月12日(土)

講師:ノートルダム清心女子大学非常勤講師

ラファエル・ホーキンス氏(オーストラリア)メインパーソナリティ

IPU環太平洋大学 ファン・ティ・トゥ・ハ氏(ベトナム)

IPU環太平洋大学 チャン・アイン・ヴ氏(ベトナム)



二次元バーコードを読み取ると動画が見られます。

以前から人気のあった「英語による絵本の読み聞かせ会」をリニューアルし、新規事業として複合メニューの親子参加型イベントを初めて開催しました。4歳から小学校低学年の子どもと親を対象に、英語のほか講師の母語を使って多言語で遊ぶもので、絵本の読み聞かせやゲーム、歌、クイズなどを通して、子どもに他言語や異文化への理解を深めるきっかけを提供します。

今回は、英語とベトナム語、日本語の3言語で行いました。ゲーム等を通して、多言語のそれぞれの音の違いやリズムを感じてもらうメニューを準備しました。対面開催を楽しみにしていた参加者が多かったのですが、当日は感染症拡大予防の観点からZoom開催となりました。

メニューは三つで、一つ目は「なになに見～えた、見えた。何が見えた?○○」。みんなで一緒に歌いながら、英語やベトナム語で、星・雷・波から問題を出し、それぞれのジェスチャーをします。例えば○○がなになにSTARの時は、星のジェスチャーをする、WAVEなら波のジェスチャーをするというものです。歌を歌いながらのジェスチャーゲームは、子どもにとっては“歌って

踊る”遊びという感覚だったようで、三つのメニューの中では一番好評でした。

二つ目は絵本の読み聞かせで『ごんぎつね』。オンラインでの絵本の読み聞かせは、全国的にも前例があまりなく当協会としても初チャレンジでしたが、多言語で行うのは珍しいと好評でした。作者の著作権への配慮が必要なため、慎重に準備をして行いました。

三つ目はイミテーションサウンド。国によって動物の鳴き声(擬音語)の表現や音が違うのを楽しみました。



ラファエル氏



ハ氏(写真左)&ヴ氏(写真右)の参加の様子



なになに見～えた、見えた。何が見えた?○○ 星のジェスチャーをする参加者



絵本の読み聞かせ

多言語読み聞かせ『ごんぎつね』。イラストが可愛らしく、ベトナム語での読み聞かせが珍しいと好評でした。



Gon (ごん狐)



『ごんぎつね』のワンシーン

イミテーションサウンド

クイズ形式で楽しみました。



お題はFROGのシーン



参加者の様子

外国人エッセイ

私の何でも 自慢

グエン・アイン・トゥアンさん

(ベトナム ハイズオン省出身)

●映像クリエイター

●日本滞在歴:8年



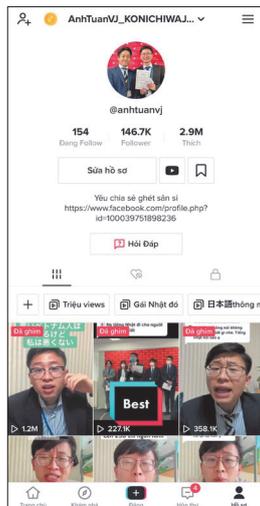
多くの方との出会いを通して自分の価値観を見つけたというトゥアンさん。
その価値観をもとにSNSで情報発信する理由とは!?

一日本に来たきっかけ

高校生の時から違う環境で自立することに憧れ、留学することを決意しました。どの国に行くか迷っていた時、環太平洋大学の先生に出会いました。その時出会った「夢・挑戦・達成」という言葉に惹かれ、日本で自分の夢を見つけ、さまざまなことに挑戦し、夢を達成できるように行動したいと思うようになりました。

一日本に来て変化したこと

来日して自立する大変さが分かりました。毎日勉強とアルバイトの両立で、生活費や学費を払うのが大変でした。来日して1年経った頃、父親が難病で亡くなり、大変ショックを受けました。大学の先生や友人がそばにいてくれ、サポートしてくれましたが、あまりにも辛すぎてわざと忙しくするために勉強会や課外活動に参加しました。そこで多くの人と出会い、たくさんの人から元気をもらいました。その頃から、困っている人を助けたいと思うようになりました。



15万人のフォロワーを持つ
TikTok
TikTok ID: anhtuanvj

一SNS活動

話すことが好きだったこともあり、TikTok*を始めました。日本語を話す動画を投稿すると「声が面白い」「話し方が癒やされる」「楽しい」など、たくさんコメントをもらいました。反対に悪いコメントもありましたが、いいコメントをモチベーションにして投稿し続けました。ベトナム語で日本の生活や自分が日本で経験したことについて発信したところ、多くの技能実習生がフォローしてくれるようになりました。

TikTokの半年後、YouTube*も始めました。チャンネルのコンテンツは日本に関すること。具体的には、自分が経験

したことや日本文化、日本人の考え方などについてです。日本語の動画もあります。今ではTikTokのフォロワー数約15万人、YouTubeは8千人の登録者がいます。

一トゥアンさんの自慢は何ですか

サラリーマンをしながらSNSで情報発信の活動を続けることです。自分自身が有意義に生きることができ活動だと感じています。これからもSNS活動を通して多くの人をサポートし、社会貢献していきたいです。

一今後やりたいこと

これからは岡山、日本のことをたくさん紹介していきたいです。また、日本の方と楽しい動画を撮影して、日本語や日本の魅力を伝えていきたいです。

どなたか日本の方と一緒に活動したい方がいれば、連絡お待ちしています!

*TikTok, YouTube...動画に特化したソーシャルネットワーキングサービス(SNS)



YouTubeで日本語学習法や日本の生活を紹介



SNSで岡山のおすすめ観光スポットを紹介

がいこくじん
外国人のための情報コーナー

じょうほう こーなー
情報コーナー

ぼうさいぐつず しょうかい 防災グッズの紹介

ひじょうようも だ ばっぐ い じゆんび
-非常用持ち出しバッグに入れて、準備しておきましょう！-

じしん すいがい さいがい おきたとき にも ひなんせいかつ ひつよう
地震や水害などの災害がおきたときに持ってにげるもの(避難生活で必要になるものなど)を準備しておきましょう。100円ショップで買えるものもたくさんあります。

りゅくさくにつめておき、いつでもすぐにもってにげることのできる場所に、置いておきましょう。 ※一人ひとり必要なものは異なります。必要なものを確認して、準備しておきましょう。



ひじょうようも だ ばっぐ い じゆんび 非常用持ち出しバッグの例

きちうひん (げんきん つうちやう けんこう)
貴重品 (現金、通帳、健康
ほけんしやう
保険証など)



けいたいでん わ
携帯電話・
じゆうてん き
充電器



ばすぼーと ざいりゆうかーど
パスポート、在留カードなど
みぶん わ
身分が分かるもの



かいちゆうでんとう
懐中電灯
よび でんち
(予備の電池)



へるめつと ぐんて ますく
ヘルメット・軍手・マスク



けいたいらじお
携帯ラジオ
よび でんち
(予備の電池)



いるい したぎ もうふ たおる
衣類、下着、毛布、タオル



非常用



ひじょうしょく いんりやうすい
非常食・飲料水
ひ つか た
火を使わずに食べられるもの
かんづめ びすけつと
(缶詰、ビスケットなど)



せんめんようぐ うえつとていつしゆ
洗面用具、ウェットティッシュ、
つか す かいる けいたいとれ
使い捨てカイロ、携帯トイレ



きゅうきゆうい やくひん
救急医薬品
(ばんそうこう、ほうたい、いつも)
の 飲んでる薬など



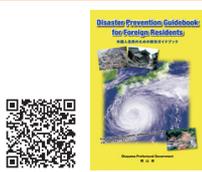
ローリングストック法

ローリングストック法は、ふだんから食品を非常食用に準備しておき、災害がないときにも家で食べ、使った分だけいつも新しいものを買っておく方法です。食べたことがある味なので、災害のときにも安心して食べることができます。消費期限が過ぎる前に、古いものから使しましょう。地震や台風の場合は、電気やガスを使うことができません。大きな災害がおきたときのために、「1週間分」の食べもの、飲みものを家に準備しましょう。



参考: ●首相官邸ウェブサイト <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>

岡山県は、「外国人住民のための防災ガイドブック」(English・中文・한글・Português・Tiếng Việt)を作りました。(2022年3月改訂)
日本でよくおきる自然災害や、家庭でできる備えについて説明しています。
URL:<https://www.pref.okayama.jp/page/detail-31559.html>



ボランティア活動しています！

ボランティア情報相談コーナー

佐野ひろ子さん

海外でのボランティア

オランダ在住時の2010年夏に、アイセル湖畔のメデンブリックという町でセーリング世界大会があり、日本チームと開催側との間の通訳や、周りの歴史的なまちの観光案内などをして、選手と5日間を楽しく過ごしました。ボランティアとして初めての活動でした。

日本でのボランティア

2018年5月 西川緑道公園筋歩行者天国ホコテンでのボランティア
2018年7月 西日本豪雨災害でのボランティア

情報相談コーナーでのボランティア

3年のアメリカ在住の後、20年間住み慣れたオランダでの生活から諸事情で2013年に帰国、それまで仕事や日常生活に使っていた英語とオランダ語ですが日本での生活にはほとんど必要ない、ということを実感するとともに寂しく思ったものです。その年にボランティアとして役立つことはないか、と情報相談コーナーに赴き担当の方の親切な説明を聞いて即登録しました。その日から早9年が過ぎました。日本文化紹介、留学生と県民との交流会、岡山を知ろう交流バスツアー等で楽しく通訳をさせていただいて、県民や留学生の方々に喜んでいただきました。またファイリング、発送物の準備など、意義ある時間を送っています。

情報相談コーナーには生活や法律、留学、観光、岡山でのイベントなどのパンフレットがそろっていますが、それらを求めて訪れる外国人、日本人が少ないことが残念です。何かお探しながらおじゃまにならないように丁寧に案内したいと思っています。



セーリング世界大会の様子



健闘した日本チーム



選手たちと観光したHoornでのチーズ市場。岡山でも買えるBeemsterチーズの垂れ幕が見えます



阿姆斯特ダムの北、車で1時間のHoorn周辺で作られるチーズ

作ってみよう！世界のレシピ

コック長 サルマ・プルカサさん

インドの国民的飲み物「Lassi」

ヨーグルトとミルクをベースに、砂糖や果物で味付けをした飲物ラッシー。インド発祥の飲み物で、日本でもインド料理店に行くと必ずメニューにあり、濃さはどろっとしたヨーグルト状のものから、水分の多いさらっとしたものまであります。カレーに含まれるカプサイシンには、辛味による食欲増進効果や、血行・血流を良くして疲労回復効果もあると言われます。食べ過ぎると刺激が強すぎることもありますが、それを助けてくれるのがラッシー。カレーを食べた後、ひりひりした口にラッシーがまるやかで口当たりが良いと感じる方も多いのではないのでしょうか。今回はさっぱりタイプのラッシーをご紹介します。

作り方

プレーンヨーグルト(無糖)に砂糖とヨーグルトと同量の水を加え混ぜます。お好みで氷を加えて出来上がり。マンゴーラッシーを作る場合はプレーンヨーグルトを1/2に減らし、残り1/2はマンゴジュースを加え300gにする。

協力：インド料理 タージナマステ 岡山市北区駅元町 30-10 (タージナマステでは全てハラール肉を使用しています。)

最後に水切りヨーグルトをトッピングするのも良い。いろいろなフルーツでアレンジするのも楽しいかも。



材料

- プレーンヨーグルト(無糖) 300g
- 砂糖 50g
- 水 300cc
- 氷 お好みで



JICAには、開発途上国から「隊員を派遣してほしい」という依頼が毎年きています。日本には、「自分の知識や経験を開発途上国のために生かしたい」という人がたくさんいます。JICAは、その懸け橋となって、日本から開発途上国に海外協力隊を派遣しています。JICA海外協力隊の職種は教育・文化分野、医療、スポーツ、農林水産分野技術系など大変幅広く約200種類あります。また、帰

国後も日本で活躍しているOB・OGがたくさんいます。岡山県JICAデスクではJICA海外協力隊の応募促進や帰国後の活躍を紹介しています。また、JICA海外協力隊のことを知ってもらうためのイベントなども実施しています。



岡山国際交流センター1階ロビーで6月26日までSDGs×JICA海外協力隊ポスター展を開催中



世界で活躍するボランティアからのレシピ

JICA中国のホームページでは世界で活躍するボランティアからのレシピを公開中です！

協力隊を目指す人、開発途上国について知りたい人はぜひご自宅でも挑戦してみてください。レシピだけでなく、食文化や食にまつわるエピソードなども一緒に公開されています！



岡山デスクが岡山出身の協力隊経験者から教えてもらったタンザニアのポテトオムレツ『チップシマヤイ』

国際協力に関するご相談は岡山県JICAデスク（北脇）まで。
E-mail: okayamaken.desk@gmail.com 電話: 086-256-2917



令和4年度 外国人コンシェルジュによる^{たの}楽しい居場所づくり事業がスタートしました！

この事業は、「外国人と県民が楽しく交流できる場所をもっと増やしたい！」という思いから、令和3年度から新しく始めました。

外国人留学生が「コンシェルジュ」として、出身地の言葉や文化を紹介したり、日本と海外の違いについて理解を深めるお手伝いをしたりと、県民の方々が楽しく過ごせる居場所をご案内します！

令和4年度は、新たなメンバーが2名加わり、4名のコンシェルジュと共にスタートしました。コンシェルジュの出身地の伝統衣装を着るイベントや、郷土料理を作るイベントを企画中です。お楽しみに！



今後の活動予定

■コンシェルジュのおしゃべりサロン

- 外国人留学生が出身地の紹介をしながら、参加された方とおしゃべりする会です。月2～3回開催する予定です。

イベントの日程は、協会ホームページやSNSで随時お知らせします。

〈会場はすべて岡山国際交流センターです。〉

7月

日本文化体験・交流会

在住外国人に日本文化を紹介・体験する機会を提供し、親しみや理解を深めてもらいます。日本人の方にもご参加いただけます。日本文化を通して交流を深めましょう。

- と き 令和4年7月9日(土) 10:00~12:00(予定)
- 対 象 協会会員・外国人、一般
- 参加費 協会会員・外国人・高校生以下 無料、一般 2,000円
- 定 員 外国人15名、日本人15名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課

8月

英語で話そう

楽しみながら生きた英語に触れ、ワークショップごとにトピックを話し合い、英会話能力の向上を図りながら、参加者同士が気軽に交流できる場を提供します。

- と き 令和4年8月20日(土) 10:00~12:00(予定)
- 対 象 英語で自分を表現し、交流したい人(協会会員限定)
- 参加費 無料(各自ドリンクは持込可)
- 定 員 60名(要申込み、先着順)
- 問合せ 企画情報課(6月中旬受付開始予定)

8月

第1回 留学生と県民との交流会

県内在住の留学生が講師となり、出身地の文化紹介をします。

- と き 令和4年8月6日(土) 13:00~15:00(予定)
- 対 象 留学生との交流に興味のある方
- 参加費 無料 ●定 員 30名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(7月上旬受付開始予定)

子ども日本語学習サポーター研修会

児童生徒への日本語学習支援に必要な知識と技術を学びます。修了者は「子ども日本語学習サポーター」として登録できます。

- と き 令和4年8月27日(土) 13:30~15:30(予定)
- 対 象 「子ども日本語学習サポーター」登録者及び新規登録希望者
- 参加費 無料 ●定 員 20名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(7月下旬受付開始予定)

会報誌アンケートのお願い 今後の参考にさせていただくため、ご協力をお願いします。

「かこさとしの世界展」(県立美術館開催)のチケットをペア5組にプレゼント!

令和4年7月10日(日)までにアンケートにご協力いただいた会員の中から抽選で5名の方に、岡山県立美術館で7月23日(土)から8月28日(日)まで開催される特別展「かこさとしの世界展」のチケットを差し上げます。発表は発送をもってかえさせていただきます。



岡山県立美術館より「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合!」

加古里子は、大正15(1926)年、福井県武生市(現越前市)に生まれ、東京大学を卒業後、工学博士、技術士(化学)として研究所に勤めました。セツルメントの活動に従事するなかで、子どもたちの視点に沿った紙芝居などを制作した経験をもとに、昭和34(1959)年に初の絵本『だむのおじさんたち』を出版。以後、平成30(2018)年92歳で逝去するまで絵本作家として幅広く活動しました。技術士としての知識を生かした科学絵本や、だるまや天狗など日本古来のキャラクターを通して古き良き日本の伝統文化を今に伝える絵本など、その著作は600余点にのぼります。本展は平成28(2016)年に発表された『だるまちゃん すごろく』などの新作に加え、『からすのパンやさん』『かわ』『地球』『だるまちゃん』など、多くの子どもたちに読み継がれてきた人気シリーズができるまでのプロセスを原画、オリジナルのスケッチ、複製写真などとともに紹介。加古作品の源流に流れる想いと作品の魅力に迫ります。



会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail: kokusai@opief.or.jp

最新情報は、当協会のホームページやFacebook、Twitter等で随時お知らせします。



ホームページ



Facebook



Twitter



Instagram

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~17:30)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

■編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内 一般財団法人 岡山県国際交流協会
☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)
☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

Instagram: https://www.instagram.com/opief_okayama/

E-mail: kokusai@opief.or.jp